

議会だよりの入善

GIKAI DAYORI NYUZEN



12月定例会

- ☆ 平成9年度一般会計補正予算 …………… 2～3P
- ☆ 常任委員会レポート・議員提出議案 ……… 4～5P
- ☆ 一般質問 — 町政を問う (14議員) …………… 6～20P
- ☆ 議案の採決結果・陳情・請願のゆくえ …………… 21P
- ☆ 討論のあらまし …………… 22～23P
- ☆ 傍聴席・各種団体からひとこと …………… 24P

104
No. 104

1998年1月27日

(平成10年)

発行/入善町議会

編集

入善町議会広報編集特別委員会
富山県下新川郡入善町入善3-255
☎0765(72)1100 ㊟0765(74)0067



現在の使用されている児童館

平成10年度建設予定

新児童センター基本設計委託

12月定例会は、12月9日から22日までの14日間の会期で開かれた。一般会計を歳入歳出それぞれ、2億6242万6000円を追加し、総額を112億140万2000円とした。
 下水道特別会計は4165万円を追加し、農業集落排水特別会計は7018万1000円を追加した。
 歳出の概要は次のとおりである。

子育てしやすい環境の整備を図るとともに、時代を担う児童の健全な育成と自立支援をするための設計委託料を補正した。

(2500万円)

新川コミュニティFM
 ラジオ・行政情報番組
 製作費

ニューメディアをモデル都市に集中的に導入して、地域の情報化の促進と活性化を図るもの。

(2522千円)

舟見・新屋経由入善行き路線
 バス1便増発に伴う負担金

平成9年12月より、日曜日・祭日を除き運行となり、通勤・通学者など住民の足を確保する。

(31万円)

身体障害者の住宅改善補助金
 5世帯に補正

在宅重度身体障害者のため既存の住宅改善に要する費用の一部を助成し、日常生活の利便が図られる。

(3600万円)

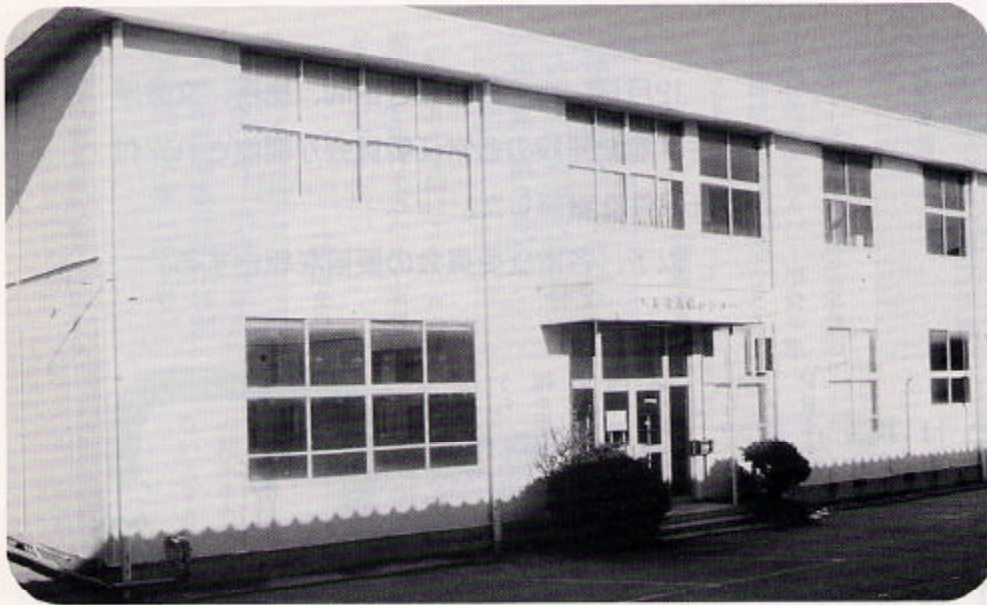


改善された住宅

旧農業センター解体工事費

平成10年度に児童センターの建設計画があり、建物の解体工事費を補正した。

(2080万円)



解体される旧農業センター

ハウス(3棟)建設による野菜種苗の供給施設整備補助金

稲作に園芸作物を取り入れた複合経営の推進のために、入善町軟弱野菜生産組合が設置するビニールハウス、種苗冷蔵庫などに助成する。

(500万円)

目川・藤原地区に集落営農組織の育成補助金に補正

低コスト農業実現のための農業機械施設を導入し、中核農家を中心とした共同利用体系の整備が図られる。

(3000万円)



遊休ハウスを利用した園芸

黒東小学校大規模改造事業の設計管理委託料及び工事費

小学校管理費については建設後20年が経過し、老朽化の著しい黒東小学校は校舎のひび割れによる雨漏りや壁面の汚れ、給水設備や電気系統の故障が発生しているため、平成10年・11年度の2ヶ年継続事業の繰越明許費になる。

(2億46万1千円)

レポート

12月17、18、19日の3日間、総務、文教厚生、産業建設の各常任委員会が開催され、付託案件を審議した。

以下、各常任委員会の要旨を報告する。

総務

新川FM放送が開局

新川コミュニティFM放送については、30分番組のうち、6分間、入善町の情報を提供することになっているが、放送を通じて、町内外の方々が入善町を知り入善町へ行ってみたいと言ふような放送であつて欲しいものである。

入善町をどのような形でPRするか工夫されたい。

税の特例制度はもっと町民にPRを

税過誤納金還付金の問題については、償却資産の課税特例は、納税者の申請に基づいて行われるとは申せ納税者自身が特例制度を良く知らない場合が多いので、制度改正等が行われた場合には、納税者に知らせるよう努められたい。

町営バスの運行は町民の声をよく聞いて

請願第12号・13号の町営バスの運行については、運行までに多くの人達の意見を聞き、困っている人達の声を反映させ、実施に向けて努力願いたい。



開局した新川FM放送局

文教・厚生

在宅重度身体障害者住宅改善に補助金を増額

在宅重度身体障害者に既存の住宅改善に要する費用の一部を助成し、日常生活の利便を図るもので、今後は一層の事業の充実と広報などで十分なPRを要望する。

三保育所で乳児保育を実施のため保育所改築

児童福祉法の改正により

98年度から保護者が自由に保育所を選択でき、乳児保育を実施するもので、保育環境の改善を図る今回の補正は、高く評価するものである。今後は全保育所に普及されるよう要望する。

新児童館建設に係る設計業務委託費2百50万円

予定地は適地であるかどうかは別として、子育てしやすい環境の整備を図ると共に、次代を担う児童の健全な育成と自立支援の観点から、評価する。

黒東小学校大規模改造工事費を補正

町内で最初の統合小学校であり、老朽化が進んでいるので、今回補正での対応は時宜を得たもので評価する。工事にあたっては、教育現場に支障のないよう万全を期されたい。

常任委員会

産業・建設

集落営農組織の育成を

評価

農業を基幹産業とする町として一番深刻な問題は、担い手不足である。その中で目川地区・藤原地区が新たに集落営農組織の確立にふみ出したことに対して補助を行うのは、時宜を得たものである。

今後の農政を考える中でJA・中核農家・営農組合などと話し合いを円滑に進め、積極的に特徴ある政策

に取り組むことを切に望む。

入善く新屋く 舟見路線バス の1便増発

弱者や通勤・通学者の利用の利便を図ることを目的にバスの増発を行うのは高く評価する。高齢化と少子化時代に入った現在、町営

バスの運行の早期実現に努力されることを望む。

下水道汚泥 処理調査に 期待

二市三町がそれぞれ下水道事業に着手している中で産業廃棄物となる汚泥の処理に頭を痛めている状態である。一町が悩むのではなく、新川全域でこの問題に調査研究を行う新川地域下水道推進協議会が発足されることに対して大いに期待するものである。

基幹道路 整備促進

基幹道路整備計画5路線のうち1路線が完成されたところである。道路整備とその機能の円滑な発揮を図ることは、町の活性化と町民生活に大変影響があるところであり、幹線道路網の早期完成を強力に進められることを望むものである。

議員提出議案

次の意見書を国に提出した

☆国民本位の行政改革と公共事業推進を求める意見書

「中間報告」で示された省庁再編を中心とした行政改革とは、行政サービスの低下に止まらず、失業や地域経済の停滞によって税収を減少させ、政府が建前としている「財政再建」を一層危うくするものでしかないことは明らかである。

よって、政府は行政改革や公共事業が国民本位の内容で実施されるよう要望するものである。

☆労働者の労働条件と権利を守り拡充する労働法制の改正を求める意見書

労働基準法の基本原則を踏まえ、労働条件と権利を守り拡充する観点から、労働法制改正として盛り込まれるよう、政府関係機関に要望するものである。

☆保育施策の充実に関する意見書

公的責任を明確にし、少子化社会の改善のため、今こそ保育施策の充実が最優先の課題であり、厳しい財政事情であっても、必要かつ十分な予算をせひとも確保すべきである。

多様なニーズに応えるサービス提供体制の整備のため、予算確保に全力を上げて頂きますよう、政府関係機関に要望するものである。



増便される路線バス

一般質問



町政を問う

14人の議員が登壇

12月議会の一般質問は15日、16日の2日間で行われた。選挙後、初めての議会定例会とあって、町民の関心も高く、多くの傍聴者があり、盛況であった。

主な内容は次のとおりである。

(注) 一般質問は本人が原稿を書き、原則としてそのまま掲載した。

- 今年度予算執行の問題点について
- 黒東合口用水組合問題について
- 桃李小学校の通学路について
- 介護保険制度が来年4月に導入されるが、町の方針について
- 柗山小学校跡地問題について
- 在宅介護の現状について
- 町営バスの運行について
- 町の農業政策について
- 土地改良総合整備事業関係の助成について
- スポーツ振興について
- ふれあい交流プラザ(仮称)の建設について
- 学校給食の民間委託について
- 出し平ダムについて
- 環境保全について

本年度予算執行と来年度予算編成方針を問う

野 坂 俊 一 議員（自民同志会代表）

町長

健全財政を保持しながら最大の効果を挙げたい



もう一カ所の増設が待たれる特別老人ホーム

問 町の基幹産業たる農業、商業、水産業の所得が低下している健全財政維持を保持しながら来年度予算編成の方針を問う。

米澤町長 厳しい財政運営が予想されるが11月末現在一般会計で65%の執行率で順調に推移している。又、町債残高が107億円を超えないよう健全財政を保持する。

新年度予算編成に当たっては町税、地方交付税、義務的経費が厳しく、下水道工事ははじめ環境整備を重点として最大の効果を挙げたい。又公共投資や社会保険費が支障の無いようにしたい。特にふれあい交流プラザ、総合スポーツ施設整

備、高齢化対策の充実につとめたい。

ふれあい交流プラザの将来構想は

問 町長は就任後「見直し変更」を提言されたが、将来構想を問う。なお計画大綱はいつ迄示すのか。

町長 就任後直ちに「ふれあい交流プラザ検討委員会」を設置した。予算上、問題点、建物施設の是非、国・県との調和、又、場所も住民の要望もあるので検討委員会と住民の意向を十分聞き対処したい。

尚、建設の計画大綱並びに細部計画は2月末を目標

に鋭意検討中である。

高齢者福祉対策と医療行政について

問 入善町に現在6237名の高齢者がおり、2000年には約9000人と推定するが在宅介護、特別老人ホームを8号線下に建設できないか、在宅介護の有り方を問う。

町長 入善町における高齢化率は、昭和50年には10%昭和60年14・1%、平成8年には20%を超え、今年10月1日現在では21・23%に達しており、国・県よりも早いスピードで高齢化が進んでいる。

このため、高齢者に対する福祉施策は最重要課題の一つとして認識している。

特別養護老人ホームやデイサービスセンターなどの施設整備については、町の老人保健福祉計画の目標数値を達成できるように努力したい。また更なる需要の増加にも柔軟に対応したい。在宅サービスの基本となるホームヘルパーの増員も計画的に進めたい。

医療保険の改革や介護保険の動向を見ながら、増大する老人医療に対して、適正受診を進め、健康で安心して生活ができる高齢化社会の確立に向け、保健・福祉・医療が一体となった諸施策に取り組む考えである。

健康センター改築は現在地で改築を

九里郁子 議員（日本共産党）

の方針を問う。特別職や議員の「報酬返上」は、公職選挙法違反になる。町長 土地改良区が管理する用排水の維持管理費の増額に配慮したい。報酬支給条例を改定し、町民の理解が得られる最低の額にしたい。

町長

再検討は2月末頃までに

舟見簡易水道の水源確保に努める

対応した運行を実現するため、十分検討したい。

問 地下水の保全と確保について、どのように認識しているか。舟見簡易水道の一部地域の水不足解消のため、新たに井戸を掘る計画があるか。

巡回型の公営バスは県内初

黒東合口用水組合の予算運用を適切に

問 黒東合口用水組合問題は、北陸電力からの寄付金550万円の70%強を報酬旅費、食糧費などに使ったことが適切でなかったということがある。

町長 地下水保全対策に努めたい。舟見簡易水道は、ひばり野小学校も使用しており、揚水施設の設置を前提に新たな水源確保に努め、使用料増にならぬよう、早急に対応したい。

舟見簡易水道の水源調査



問 巨費を投ずるふれあい交流プラザ（仮称）事業に反対してきた。国際交流や全国的なイベントが開けるような施設は必要ない。元金だけで約1億8000万円の返済と維持管理に約1億1500万円、年間3億円近い財政負担になる。健康センター改築は機能を充実し、現在地で。町長は、どのように再検討したいのか。

町長 私の選挙公約でもあり、事業の規模、内容、建設場所も含めて見直したい。2月末頃までに提示したいと思っている。

問 町営バスは、利用しやすいものでなければならぬ。町民は、できるだけ早い運行開始を求めている。町営バス運行についての基本方針と計画を問う。町長 入善町が計画している町営バスの運行方法（巡回型）は、実現すると県内初の事例となる。県からは「大変期待している」と励ましを受けている。平成10年度に調査・検討、平成11年度運行開始を予定している。効率的で住民ニーズに

問 黒東合口用水組合問題は、北陸電力からの寄付金550万円の70%強を報酬旅費、食糧費などに使ったことが適切でなかったということがある。

用水は、全町民の生活用水であり、防火用水でもあり、転落事故防止、ゴミや堆砂の除去などにこそ使うことである。今後の組合のありかたと予算運用につい

財源構造改革法の子算削減 に対し町の財源確保を問う

谷 昌 典 議員 (自民同志会)

町長

財政調整基金の充当などで
計画通り見込んでいる



桃李小学校通学路

問 町民総合計画では平成12年までの予算が増え続けている。積極性に富み町発展の願いが伺えるが財源確保の方策があるか。

町長 財政構造改革は国のみでなく地方にも徹底した要請がある。公共投資は7%以上の削減、地方交付税

3%以上の削減であり厳しい査定を予想している。一般財源で不足分は財政調整基金及び減債基金の充当、又優良起債償還の交付税措置、町民税、法人町民税、固定資産税等、大きな変化が今のところ少なく財源確保は計画通り見込んでいる。

尚、国際交流ハウス、カントリイエレベーター事業、美術館整備の整備年度を延期したい。

問 町債が年々増加し本年度末で107億円となるが繰上償還低利借換えの促進に努力しているか。

町長 大規模施設臨時的多額の出費永年利用できる施設等の事業に町債を起し、財源にできる公債には政府資金、繰故資金があり、繰故について低利借換えをし8年度で777万円利息の削減をした。今後も借換えや償還を進める。また公債残高増大による財政の硬直化を防ぐため計画運用を行い町財政の健全化に努める。

高齢者福祉対策の今後の方針と介護保険の対応は

問 介護施設入所者が増加傾向であるが特別養護老人ホームの建設計画はあるか、また在宅介護の利用者の少ないのはなぜか、ヘルパーの人数は十分か、生きがい対策はどうか。

上原福祉課長 特養ホームは平成12年以降に考える。在宅介護者への利用促進の

ため、各団体を通じPRをする。ヘルパーは平成12年で31名、その後も柔軟に対応する。

生きがい対策はシルバー人材センター、老人クラブ等に強力で支援する。

介護保険法の対応を考えているか

問 同法導入まで多くの準備が早急に必要だが対応をどう考えているか。

町長 平成10年度より新川三町で課題や調査研究等を共同実施し、12年の導入に対応する。

桃李小学校通学路の整備促進を

問 桃李小学校の通学路の確保整備が統合条件であり整備計画を提示されたい。

島瀬建設課長 国道8号線とJR間歩道新設工事中。平成11年で完成する。柗山新交差点は10年度調査費を要望する。横山柗山新線は調査測量完了し10年度計画図により関係者と協議する。JR南側古黒部長島線は町単工事で部分改良を行う。

ホームヘルパーなどの人材確保は どう考えているか

袖野伸司 議員（自民同志会）

町長

増員確保に努めていきたい



インターネット検索中

問 ホームヘルプ、デイサービス、ショートステイを行う為の人材確保はどうか。
町長 デイサービスセンターを関係機関と協議しながら建設したいと考えている。ホームヘルプサービス体制を確立する為に増員確保と研修の強化に努めて行きたい。

問 特別養護老人ホーム、老人保健施設は、今後どのように考えているか。

町長 新ゴールドプランにおいて100%の整備状況であり、平成12年以降の計画のなかで、早い時期の整備認可を得るよう、国、県に働きかけたい。

インターネット 被害対策は

問 ホームページへの侵入等、インターネットを悪用した被害が広がっているが対策はどうか。

鬼原総務課長 役場外部からの侵入に対し、ファイヤー・ウォール・システムを備え万全を期している。コンピュータ・ウイルス対策は、チェックシステムを装備し、常にウイルス・チェックを行っている。役場内部の情報検索及び入力、業務上必要な職員のみができる様、暗証番号を設定してデータ保護に努めている。

問 北陸新幹線工事実施計画における用地及び環境に対する対策をどのように考えているか。

町長 新幹線が斜めに横断する為、数多くの三角田が残地として残る事や付け替え道路の整備、これからの生活環境対策について地元の意見が十分に反映されるよう、積極的に鉄建公団、県当局へ働きかける。

問 墓ノ木、小杉線の墓ノ木地内の石積処理をどうするのか。

松島農林水産課長

平成4年に陸砂利採取業者から寄付を受け、下山用水の護岸に使用する予定で右岸で一部使用し、約600個積み残されている。

(大きい石で1t以上)道路沿いにこのまま放置しておく、交通安全上問題もあり、運搬経費を予算化し早急に撤去したい。

問 新屋公民館のトイレの中が廊下から見えるが設計段階で検討はなされていたか。

鍋谷生涯学習スポーツ課長

地元建設委員と協議しバリアフリーの考えから、ドアをつけない構造としたが、改善について十分検討したい。

新たな米政策をうけ 町はどのように対処するのか

谷口一男 議員（自民同志会）



町長 町としてできるだけ支援を行う

転作田でのキャベツ栽培

問 新たな米政策が決まり町として今後どのように対処していくのか。

町長 うち出された政策は現時点では骨子のみで、細部についてはつきり見えなことから今後、県と連絡を密にしながら概要が判明次第、皆様方にお知らせしたい。さらに農協とたえず連携をとりながら、町としてできるだけの支援を行っていく。

問 転作増加にとまない、所得向上に向けた対策を考えているか。

町長 転作制度そのものが不合理であり、不満に思っているが、米価の維持安定には、不本意ながらやむを得ないものと感じている。複合経営の一因となりうる転作物の普及推進に、今後とも積極的に押し進める。また、作業効率や補助金の有利さを考える時、団地化への誘導は不可決であり、そのために来年度も町独自の助成を続けたい。

問 所得につながる作物の選択や町の特産となる作物を考えているのか。

町長 本町特産物の作付けがしやすいような施策を講じるとともに、財政的支援をしていきたい。また遊休ハウスでの軟弱野菜栽培、人手のかからない里芋などの普及に努めたい。

拡大の方向で 検討したい

問 若くても身体障害者の方も使用できる施設を作る考えはないか。もしくは既存の施設の使用を認める計画はないか。

又、町民会館に車椅子で

訪れても、二階に一人で自由に昇り降り出来る設備を取り付けてはどうか。

町長 現段階の運営は、おおよね65才以上の高齢者に限って、サービスの必要な人に対して利用をいただいている。障害者に対する施設はないのが現状で、平成11年に整備を予定している。二つ目のデイサービス施設については障害者の方の受け入れが可能のように整備することを考えている。ショートステイ施設の整備は、今後の課題と受けとめる。当面は現在運用しているホームヘルパーの派遣を十分利用して頂きたい。

問 既存施設の利用者の拡大についてはデイサービス事業の受託者と協議し、拡大の方向で検討したい。

鍋谷生涯学習スポーツ課長 エレベータ室、既存の階段に昇降機の取り付け等検討中であるが、会館の構造上、安全性、経費等の問題で現状では難しい。しかし今後とも前向きに検討していきたい。

十年度に検討 委員会を設置



旧 梶山小学校

問 梶山小学校跡地の有効利用を考えているのか。又今後の計画に地区交流センターの建設を要望する。

町長 平成7年12月に地元地区より請願書を受けている。行財政改革検討委員会で検討課題として取り上げており、まだ明確な方針が決定していない。

10年度に学校跡地利用検討委員会を設置し、委員に地区代表、公益代表及び町関係者で構成できないか考えている。そこで地区交流センターも含め十分検討し利用を決定したい。



ホームヘルパーのミーティング

介護保険法成立に伴う ホームヘルパー対策は

広瀬 喜代志 議員（無所属）

平成12年までにヘルパー31名体制にしたい

問 介護保険法成立に伴い施行まで2年余りとなっているが、町としての対策はどうなっているか。

町長 在宅福祉の三本柱のひとつであるホームヘルパー対策は入善町老人保健福祉計画に基づき順調に推移しており、現在、常勤ヘルパー9名、非常勤ヘルパー14名の23名体制であるが、平成12年には常勤ヘルパー14名、非常勤ヘルパー17名の31名体制にしたい。

**介護保険対象
施設の利用者
負担は**

問 介護保険制度において施設を利用した場合、その利用者が負担する内容について。

町長 介護保険の対象となる施設は3種類あり、療養型病床群、老人保健施設、特別養護老人ホームに分けられる。老人病院については、1ヶ月に約40万の費用がかかり、利用者は入院1日につき1000円と食事代760円と併せて月、約5万3000円がかかり、こぶしの庭では、月33万円、個人負担は食事代と雑費で約5万5000円、寿楽苑は月27万円の措置費のうち、所得に応じ平均4万5

000円を負担してもらっている。

平成12年4月に制度が始まると厚生省の試算によれば、個人負担の最高限度額は、老人病院で月6万1000円、老人保健施設で月5万円、特別養護老人ホームでは1ヶ月4万7000円としている。

問 在宅介護の現状について問う。

町長 入善町における要援護老人の数は、今年4月現在で、寝たきり89名、痴呆50名、虚弱311名、合計450名となっている。

ひとり暮らし
老人対策は

問 町におけるひとり暮らし老人はいくらおおいでになるか、その対策は。

町長 現在ひとり暮らし老人は490名、高齢者夫婦の世帯数は261世帯であり、今後ますます在宅福祉サービスに力を入れていきたい。

問 町長は公約したことを実現するために何を基本として町政執行にあたるか。どんな町づくりをしたいと考えているか。

町長 町政執行に当たり、私自身も公平公正に努めるとともに、選挙期間中から公約していた「公正、公平な開かれた町政の実現」を基本理念と定め、町民がみずから主人公となる開かれたまちづくりを進めたいと決意している。

全国のモデルとなりうる生活文化のまちづくりの実現に努める。

早い段階での町営バスを 運行する考えはないか

福 沢 憲 一 議員 (自民同志会)



町長 平成10年度に試行運行をする

利用者の多い福祉バス

問 小摺戸地区や他の7地区の高齢者の人達は、路線バスが休止している中、買い物や医者に行く交通手段がない。早期に運行すること、町へ行き一人が月に10000円お金を使った

としたならば大変なお金が商店に落ちるわけで、商店街の活性化にもなると考えるが。
町長 町営バスの運行を求める請願、陳情が署名を添えて提出されている。平成

10年度に調査、検討を行い、平成11年度からの運行を計画している。試行運行については、10年度中に運行する考えである。

予算を弾力的に運営せよ

問 9年度も残すところ3ヶ月あまりであるが執行状況はどうか。町長の見解を求めらるものである。また、企画財政課長には、執行率は何か。8年度の決算では1億4000万円あまりの不用額がでていたが12月補正の査定段階で減額等も考えられるし、予算の弾力的な運営を考えれば流用も考えるが、見解を聞くものである。

町長 今年度も3ヶ月余りを残し、予算の執行状況は概ね順調に推移していると認識している。

平崎企画財政課長 執行状況については11月末で、経常的なものは65・8%、投資的なものでは74・2%で、概ね順調である。

予算の流用についても、性格によるが、弾力的な流用をやってゆく考えである。

保育所の統廃合を考えているのでは

問 児童福祉法の改正に伴い、希望の保育所を選べるようになり、乳児保育を次の3ヶ所ですっきりしますとのことであるが、根底に統廃合があるのでは。また、中心部に近いところではなく、分散すべきで、保護者等のアンケートの結果が。そして、保母職員の勤務体制は。

町長 新たに実施する3保育所の選定理由は、①住宅団地やアパートも多く、勤め先も集中している。②農村部は三世同居が多く乳児保育に対する希望が少ない。これらのことから総合的に判断した。他の保育所については、今後の推移を見て対応してゆく。また、保母職員の勤務体制については、年度当初の配置に、ある程度の余裕を持たせる考えた。

上田福祉課長 保護者のアンケートはとっていない。現場の所長から、その地区の実情を聞いて判断した。

町の農業政策について問う

西尾政巳 議員（自民同志会）

町長

町の重要産業であると十分認識している



利用客増が望まれる入善駅

問 前の町長は農業は町の基幹産業と位置づけし、いろんな施策を講じてきた。新町長の行政の継続性に対する考え方は。

町長 農業は町の重要産業であることは十分認識する。間 米価は平成6年産米に對比して20%下落している。肥料価格は円安の影響で2%アップ、稲作経営安定対策として、毎年基準価格の2%を拠出しなければならぬ。来年度も確実に農家の手取りが4%以上減るが対策は。

町長 来年度より稲作経営安定対策がスタートする。これは米価の下支え制度のような価格保障制度であり、未だ骨子のみで細部は、は

つきりしていない。問 転作面積が拡大される。土よせ機、刈取機等、不足する農業機械等の対応は。

町長 収益性の高い作物への団地誘導と機械導入に対し計画的に財政支援をする。

財政硬直化傾向への対応について

問 義務的経費（人件費、扶助費、公債費等）が投資的経費（工事費、委託料、財産購入等）を上回る。対策は。町長 町財政は少子高齢化時代を迎え、納税者の減少や福祉費の増大等ますます厳しい。少しでも有利な財

源の確保が大切で、国・県の補助金の活用が第一である。

問 町には審議会、協議会が数多くあり委員の定数が多過ぎるのではないかと。鬼原総務課長 町には70位の審議会、協議会がある。防災会議のように法律で定められているもの、町民の意見を聞くもの、町民の協力を得るためのもの等がある。行財政改革委員会で検討する。

商業振興策について

問 黒部駅と入善駅とのJRの発着数は、上りで黒部駅が42本、入善駅が30本と

差がある。特に黒部駅発が9本もある。下りは14本少いが対策は。

町長 11月17日富山駅にあるJR西日本北陸地域鉄道部長に陳情した。一人でも多く入善駅を利用する事がサポートになると思う。問 元気の出る商店街づくりのマスタープランの作成は。島瀬建設課長 かつては町並みデザイン事業でマスタープランを作成した。その後、バブルがはじけたこと、その他の要因で進展していない。

入善町の財政状況を どのように分析しているか

本多 幸男 議員 (社民党)

町長

一年間の収入より借金が多い事を
危惧している



予算ヒヤリング

問 選挙の洗礼を受ける者は公約の実現に政治生命をかけて努力しなければならぬ。中傷誹謗、怪電話、人権侵害は厳に慎しむべきと思うが、もし、この様な

ことがあったとすれば米沢町長はどのような感想をもっておられるか。

町長は当選後、初の議会なのに所信表明演説がなかった。「変えなきゃ変わらない」と言い続けておられるが、何をどのように変えるのか、町民に解りやすく説明していただきたい。

町長 所信を述べなかったのは、議員の質問に答える中で私の考えを述べたいと思ったからだ。私の所信は清潔で公平で公正な信頼される町政であり、私自身が公平で公正な姿勢で臨みたいと考えている。

問 「入善町は借金グラダで会社なら倒産」という話があるが、議会もあらゆる角度からチェックをしている。特に公債残高に細心の注意を払って計画財政を基に事業を推進してきたと思うが、あなた自身はどのような批判を持っているか。

町長 一年間の収入より借金が多いので危惧している。不用不急なものを見直し、交付税など有利なものに限定したい。

公正な人事 管理を望む

問 町長に就任直後、昇格人事を決裁されたが、職員昇格、昇格人事は何を基準に決定するのか。職員に不信感がある。公正な人事管理で明るく働きがいのある職場に努められたい。

町長 定例に依るものでなかったのが誤解されたと思うが、新体制になって、職員サポート体制を強化したかった為の人事であり、議員各位の諒解をいただきたい。

問 入善元町に公民館を二つ建てると公約されたが聞くが、事実か。

町長 公民館活動が活発化すれば検討したい。

問 新武道館の建設計画を示された。

町長 総合体育館の北側で平成11年度に建設する。

問 県営土地改良事業の地元負担を軽減されたい。

町長 農家負担を軽減し、土地改良区の維持管理助成を検討したい。

ふれあい交流プラザ(仮称)の見直しの真意を問う

元 島 正 隆 議員(無 所 属)

町長

市街地活性化との整合性を図る観点から



整備の待たれる運動公園

松島農林水産課長 今までの県の補助で導入した機械の利用状況や作付け予想面積を勘案し、更なる県補助の獲得を目指したい。町の応分の助成を上乗せをするなど転作増加に万全を期し、農家負担の軽減を図りたい。

老朽化した運動

公園の総合的な

改修案を示せ

問 町民のスポーツの拠点である運動公園は、建設後20数年を経過し重大事故が発生しかねない程、老朽化している。第3種公認化への整備、凸凹の野球場グラウンド、管理者責任を問われかねないテニス場など、総合的な改修計画を示されたい。

町長 急務であるテニスコートについては直ちに補修をしたい。

現在、体育協会をはじめ利用関係団体の皆さんと抜本的な基本構想を検討しているところである。

運動公園全体の配置面や敷地の拡張をも視野に入れた総合的な見直しをしたい。

道路や用水の改廃にも同意してきた。もし場所を変更するといふのであれば地元は反対している。これにどう対処するのか。

町長 市街地の活性化を促す観点から、商店街との相乗効果が生まれると思う。また、この事業見直しのための整備検討委員会を庁内に設置し2月末頃まで結論を出したい。さらに地元のみなさんや構想策定委員にもその後説明をしたい。

転作の増加に

対応する町農政

の対応策は

問 第3次コメ余りの今日低コストを目指す営農を確立するために、アサヒビール工場の誘致を図りビール

製造過程で出来るビール滓を有機肥料として再生し、環境に優しい「つぶぞろい」の里、入善米の確立を目指してはどうか。

松島農林水産課長 コメ自由化の今日、消費者ニーズに対応して行かねばならない。付加価値の高い米作りが最大の課題である。町では有機米実証田には3カ年にわたり補助をしている。また、現在アサヒ飲料から出されるコーヒ豆、お茶の絞り滓を牛糞と混合し、良質の堆肥の生成実験に入ったところである。土壌改良に取り組んでいる農協と一体となり推進して行きたい。

問 米年から予想される転作面積の増加に対して、大豆収穫用の機械購入助成やリースの貸し出し支援を増強されたい。

問 自治省が「地域間交流」として認定した、ふれあい交流プラザ(仮称)を見直した真意は何か。この計画は町出身である日本銀行理事、画家を初め県の総務部長、自治省の課長らで2年間を懸けて練り上げられた計画である。無駄とはどこが無駄なのか。

町長 事業費(28億円)の内、ほとんどが起債である。この返済(元利)の約半分が国からの交付税措置で残り一般財源である。従って多くの起債を組むことは将来に公債残高が膨らむことになる。今後の財政運営に支障がきたす恐れがないか再調査をすることにしたい。

問 現在の立地場所の地元は、ふれあい交流プラザ(仮称)が整備されると言うことで、貴重な用地を提供し

外部監査制度導入公約の 真意は

大林政雄議員(無所属)



町長

一層正確、公正な町政を目指すため

毎月行われている監査

問 先ず町長ご当選に祝意を表し、その実践力を高く評価する。今後の町政執行にあたる所信をお伺いしたい。

町長 透明で信頼される町政の実現を目指し、取り組みたい。町民の生活文化の

向上、組織機構、条例規制等の見直し、財政改革を推進しつつ清潔、公正を旨として執行にあたる所存であり、ご支援をお願いする。

問 公的に掲げ外部監査制度の導入とあるが、法定による現制度への不信からか

真意は奈辺にありや。

町長 現行制度に不信等全くなし。昨今の地方自治体の予算執行に対するマスキミの不評続出の折柄、一層の正確公正を期さんがためと解釈願いたい。導入については更に調査研究を続けたい。

鬼原総務課長 法改正により町村においても条例により導入出来ることとなり現行制度の更なる充実を期するための補完と考えられたい。町長答弁の如く更に調査研究を続けたい。

ふれあい交流プラザ(仮称)見直しの根拠は

問 ふれあい交流プラザ(仮称)見直し論について質したい。町民アンケートによる最も強い要望の、保健・医療体制の整備と当該審議会の答申に應えるため、より有利な補助金、起債条件等を考慮し、町当局、議会、その他の入善シンクタンクの慎重審議の結果せるものと自負するにも不拘、返上見直し論はまさに青天の霹靂。よって建る根拠は何か。

町長 見直し、或いは中止

は結論したのではない。

昨今の日本経済の不安に鑑み、自治省の指定はうけているものの、施設規模、事業費の節減等は可能か否か町中心街活性化との関連等も考慮、今後国や県の指導のもと、議会とも十分協議のうえ進めるべく見直し事務を、担当課長に命じたところである。

平崎企画財政課長 金融機関の破たん、赤字国債の発行等、経済的先行き不安から今一度見直ししたい。議会において議決された予算に従い来年の2月末を目途に検討を進めたい。

問 総て庁内の検討委員会にとの答弁であるが、首長としてオリジナル的自覚を保持されたい。昨今の庁内不安、動揺もこれに起因するものと憂慮される。「偽言汗の如し」を基に徹底的善処を望むところである。

町長 御意見の通り、議会軽視は毛頭あり得ない。議決を尊重し、心して見直し検討を進める所存である。ご理解いただきたい。

行政改革をどのように取り組むか

上野 等 議員（自民同志会）

実施計画を次の議会に発表したい



給食準備に精だす調理師

問 選挙を通して町長は、数多くの公約を掲げて、船出された。公約の一つに、行政改革をあげられたが、どのように取り組んでいかれるのか。

町長 事務事業の合理化では、情報処理、事務処理におけるOA化の推進や既存事務事業の再点検や見直しを行いたい。民間委託に検討するものとして、ホームヘルプ事業などの介護事務、運行計画予定の町営バス、町所有のマイクロバスの運行事務、公園施設の管理事務など考えている。

その他、補助金の整理合理化、旅費日当の見直し、これからは、高齢者に対する施策が展開されるが、このための組織づくりなど考

えている。内部で検討し、実施計画を次の議会で発表したい。

学校給食の

民間委託の

考えは

問 富山県では、経費を考へ県立学校の給食を民間委託の方針で検討を始めた。

町も調査、研究、検討に入る考えは、ないか。

町長 自校炊飯の理由として、児童・生徒にきめ細かく、愛情のこもった給食の提供と食中毒が発生すると全校にその影響を及ぼすのを防止するためだが、経費節減の面からして、将来の課題としたい。

問 小・中学校における職員数と給与費は幾らか。

大沼学校教育課長 平成8年度で、調理師31名の人件費総額は、1億4千万円余りである。

町所有の絵画

はいくらある

か

問 町には、大変多くの絵画があると聞くが、どれ位あるものか。

鍋谷生涯学習スポーツ課長 町村合併前から引継ぎされたもの23点、寄付によるもの154点、残り311点が購入されたものである。

問 いろり館や旧吉田邸、新屋公民館などに前町長が

書かれた掛け軸が掛けてあるが、問題もあると思う。

鍋谷生涯学習スポーツ課長 ケースバイケースで対応していきたい。

問 武村福祉会館の使用申込みが、90日前に受け付けだと聞いているが。

また、ロビーの応接セットにガムテープが貼ってあり大変見苦しいが。

上田福祉課長 90日前に受け付けし、トラブルがあった。これは、日数の数え違いによるものだが、以後注意したい。

応接セットについては、新年度に予算要求したい。

保育所の今後の 改築計画を示せ

岡 島 功 議員 (自民同志会)



町長

芦崎保育所、平成11年度に新築予定

新築がまたれる芦崎保育所

問 児童福祉法の改正により、乳幼児保育が町内3保育所で実施されるが、それらの実施にともなう保母の

確保と施設の増改築の計画を示せ。

町長 利用者が利用しやすい保育所づくりを目指し、平成10年度の体制は、5保育所で午前7時の開所、午後7時迄の延長保育2ヶ所、8ヶ所の居残り保育、内3ヶ所を午後6時迄とする。4ヶ所の乳児保育、3ヶ所の障害児保育、13ヶ所の一時保育を実施する。

芦崎保育所は平成10年度に用地選定、11年度に新築の子定である。児童館については、農業センター跡地に新築の子定である。

常に議会と職員と話を煮つめて物事を進めていきたい。

上田福祉課長 保母の人数確保については、乳児3人に対し保母1名の基準は遵守していきたい。また、ゆとりを持った保母の動きやすい体制を目指したい。

30%の女性登用

各審議会や

委員会

問 今後の高齢化社会の中、男と女が共に生きる「男女共生社会」の実現に向けての計画を示せ。

町長 女性啓発セミナー、女性学講座、自己開発講座、男女共同参画推進リーダー研修等の実施により、町民の中に男女共同参画社会づくりの意識が着実に浸透してきております。

今後、女性議会、一日課長の実施。25%の男性推進員の登用、各審議会や委員会への30%女性登用を目標に努力していきたい。

関係機関と協

議の上、今後

も排砂

問 平成7年から9年迄、3ヶ年で行った緊急排砂の結果と、今後の取り組みを示せ。

島瀬建設課長 平成3年からの排砂については、議員の指摘の通りであるが、結果については、影響及び被害がなかったとのデータであります。今後も黒部川は土砂くずれ等、多発する地域ですので、国、県等に働きかけて堰堤の設置を考えた。そして出水時において、通常と変わらない状態で排砂を行うとのことであります。

観光産業振興こそ町活性化の切り札 今後の取り組み姿勢を問う

菅田 英一 議員（自民同志会）

町長

新川地域観光開発協議会を設立し、推進したい



入館者3万人を越えた沢スギ自然館

問 隣接市町に比して観光振興におくれをとっている。積極的な取り組みをする考えはあるか。

町長 入善町は、豊富な水資源に恵まれ、また景観的にも美しい自然環境を形成している。豊富な観光資源を有機的に回遊できるようにネットワーク化が必要だ。潜在観光資源の発掘、特産品の開発、PRに努め、新川二市三町で新川地域観光開発協議会を設立し、観光開発を推進したい。

沢スギ自然館の管理は

問 文化庁の「天然記念物整備事業」の第1号指定を

受け整備され、今年度から運用の始まった沢スギ自然館の施設管理、整備はどうか。

上原教育長 11月末で3万人を越える入館者があり、今後は自主製作したビデオ等、館内の充実を図る。観光バス等対応の道路整備は十分とはいえないが、県企画の湾岸道路が将来付近を通ると聞いており、それとのアクセスを考えたい。水量については、減少傾向であり、今後とも地下水の確保に検討、努力したい。

「開発」と「環境保護、公害問題」は全世界、全人類のテーマ

問 地球温暖化に対し危機感をもって対処することが大切だと思うが、町としての取り組みは。また学校のゴミ焼却炉についての現況は。

町長 温暖化防止は、私たち一人ひとりが自覚し、どこまで実践できるかが大きなカギであり、町の取り組みとしては、省エネやリサイクルの推進で資源の有効利用を図り、国や県の指導を得ながら一層の啓発に努めていきたい。
上原教育長 学校の焼却炉については、現在4校使用しており、7月以降使用自粛を指導している。

議案の採決結果

当局から提案された一般会計補正予算案や、条例の一部改正案など議案8件に対する採決が本会議最終日に行われた。その結果を報告する。

議案第53号 平成9年度入善町一般会計補正予算(第3号)

黒東小学校大規模改造事業の設計管理委託料及び工事費や集落営農組織への補助金などを補正するもの。

(賛成全員)

議案第54号 平成9年度入善町下水道特別会計補正予算(第2号)

町道五十里線に350mの管渠工事を施行するため工事費などを補正するもの。

(賛成全員)

議案第55号 平成9年度入善町農業集落排水特別会計補正予算(第2号)

小摺戸地区福島地内に950

mの管渠工事を施行するため工事費などを補正するもの。

(賛成全員)

議案第56号 入善町公告式条例の一部を改正する条例

条例を公布する掲示場の名称を改めるもの。

(賛成全員)

議案第57号 入善町議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当の改正に関する条例の一部を改正する条例

平成10年3月に支給する議員の期末手当の支給率を引き上げないとするもの。

(賛成全員)

議案第58号 入善町長等の給料その他の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例

平成10年3月に支給する町長等の期末手当の支給率を引き上げないとするもの。

(賛成全員)

議案第59号 入善町の職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づき職員の給与と条例を改正するもの。

(賛成全員)

議案第60号 入善町非常勤の職員の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

脳死した者の身体に対する療養補償の附則条項を加えたもの

(賛成全員)

みなさんの請願・陳情のゆくえ

今定例会に提出された請願6件・陳情5件の審査結果は、次のとおりである。

○松風団地(町道横山―長島線一部含む約900m)消雪に関する請願書……………採択

○冬期間の歩行や交通不便解消のため……………採択

○町営バスの運行を求める請願書(2件)……………採択

○通勤・通学や高齢者の通院などに交通手段としての町営バス運行要請のため……………採択

○国民本位の行政改革と公共事業推進を求める請願書……………採択

○行政改革や公共事業が国民本位の実施を求めるお願いのため……………採択

○「労働者の労働条件と権利を守り、拡充する労働法制の改正を求める意見書」の採択についての請願書……………採択

○保育施策の充実を求める意見書採択等についての請願書……………採択

○以上2件については、意見書を政府関係機関に提出のお願いのため……………採択

○治安維持法犠牲者国家賠償(仮称)の制定を支持し、政府に……………採択

対し意見書の提出をお願いする陳情書……………採択

○土地改良区合併後の助成についての陳情書……………継続審査

○土地改良事業に対する町補助率の増率改訂並びに施設維持管理費の助成についての陳情書……………継続審査

○以上2件については、町補助率の引き上げと助成金交付の……………採択

お願いのため……………採択

○学校給食米への補助継続を求める陳情書……………採択

○補助継続と地元産米の使用実施のお願いのため……………採択

○小摺戸地区の地域性から医療機関や町商業地域への交通機関……………採択

(入善町直営福祉バス)の運行についての陳情書……………採択

○町営バスの運行を求める請願書と趣旨のため……………採択

……………採択

……………採択

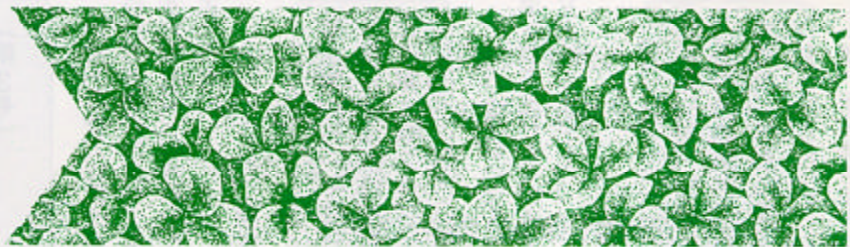
……………採択

……………採択

……………採択

……………採択

に対する らまし



全案件に賛成

財源の確保に格段の努力を

大林 政 雄（無所属）

十二月町議会は行財政改革、中央省庁の再編、景気の足踏み、相次ぐ金融機関の破綻等の不安、不信感の中で開会された。

したがって町政に関連する問題も多く、21世紀にかかわる町政のかくあるべき姿、その方向づけ、新年度予算に住民の声を如何に反映させるかを論ずる重要な議会であると認識し、討論に参加した次第である。

付議された案件は一般会計補正予算等3件、条例改正5件、請願6件、陳情5件であるが、先づ一般会計補正予算は既定の歳入・歳出予算総額にそれぞれ2億6242万6000円を追加し、112億1140万2000円とするもので、この財源は地方交付税、国・県支出金の計2億1599万9000円をはじめ繰越金、町債等が見込まれて

いるが、財政多端、逼迫の折、財源の確保に格段の努力を願ひ、政策的補助事業には機を失しない効果的執行を期待したい。

歳入の補正額を大別すれば、人事院勧告給与改定費3100万円と築後20年を経過した黒東小学校大規模改造費2億円をもってその殆んどが占められている。給与費補正は官・民給与を均衡させるため人事院勧告によるもので特に意見はない。ただ、景気の足踏み、

国・地方を取り巻く財政環境の中でカラ出張など公務員に対する批判の多い昨今町職員は町民への奉仕者であるという自覚のもと、職務規律の遵守、能率向上のための奮励を期待するところである。

財産管理費に旧農業センター解体工事費として2080万円が計上され、この

跡地に児童館が建設される予定であるが、国道8号線拡幅の影響もあって果たして適地であるか如何か懸念するものである。ただ学校週休2日制、鍵っ子対策等の観点から、この取り組みを政策的に評価を惜しまない。

社会総務費では在宅重度身障者住宅改善補助として360万円計上されているが、福祉の重要性に鑑み予算の拡大、制度普及のための広報を怠りなきよう願いたい。

保育費では東部、上原、青木保育所での乳児保育に対応するため260万円が計上されている。少子化、女性の社会進出等に配慮し、全保育所に普及するよう望みたい。

又、労働費の路線バス運行負担金として31万円が計上されているが、単に冬期間のみの対応に限定せず、広く交通弱者を護る立場に

たつて町営バスの運行について更に研究・検討を進められたい。

農業振興費では藤原、目川地区での集落営農における機械の共同利用をもっと効率化、省力化を目的として3000万円が計上されているが、時宜を得た措置であり、該目的達成に期して待つべきもの極めて大なるものがある。

港湾建設費の減額は国の事業費の減額によるもの、国道8号線バイパス事業費の減額は用地先行取得の変更によるもの、道路新設改良費の2142万円の減額は幹線道路上野・吉原線の物件、用地買収未解決によるもので、計画策定時での念査、交渉にあつたの關係者の努力を期待したい。

小学校費、学校施設維持費の2億46万1000円の計上は国の緊急経済対策前

倒しによるもので本町初の統合小学校として昭和54年に開校された黒東小学校の老朽化が著しく、これを平成10、11年度の2ヶ年で補修せんとするものであるが施工にあつては安全の確保、又、現場教育に支障の及ばないよう万全を期されたい。その他の補正については特に意見はないが、執行にあつては適期、予算効果等の発揮を望むものである。

下水道特別会計補正予算は町道五十里線に約350mの管渠埋設するものであり、又、農業集落排水特別会計補正予算は福島地内にこれも管渠の埋設工事であり、快適な環境づくり、水質保全のため早期供用を目指して鋭意努力願いたい。

したがって両会計の補正については異存はない。

請願6件、陳情5件は住民生活に直結する道路消雪、町営バスの運行、土地改良補助等であり、したがって各常任委員長の審査報告どおり決するに同意するものである。

以上意見を具申し、本定例会に提案された全案件に賛成するものである。

議案・請願・陳情 討論のあ

陳情第6号の継続審査に反対 陳情第11号に賛成

九里 郁子（日本共産党）

反対

陳情第6号 治安維持法
犠牲者国家賠償法（仮称）
の制定を支持し、政府に対し
意見書の提出をお願いす
る陳情書について

治安維持法は、国民の自
由な思想を絶対に認めず、
死刑や無期の刑で完全に押
しつぶしてしまおうという
ものであった。

革新政党、労働組合、宗
教者、知識人、文化人まで
数十万人の人達が逮捕され、
拷問により虐殺・獄死した
人は2000人にもなる。
富山県での犠牲者は分かっ
ただけで95名を数える。
ポツダム宣言を受諾し、
治安維持法は撤廃され、こ
の法律で有罪の判決を受け

た人々は無罪になった。

1993年、日本弁護士
連合会・人権擁護大会は

「治安維持法による被害は
重大であり、国家賠償責任
があり、補償されるべきも
の」と指摘している。すで
に全国で221議会が意見
書を探択し、46議会が趣旨
採択している。

アメリカ、カナダでも戦
争中の日系人の強制収容者
に対して陳謝と賠償が行わ
れている。

憲法第17条の規定にそい、
国が謝罪と賠償を行うよう、
政府に意見書を提出すべき
ものと考えます。

賛成

陳情第11号 学校給食米

への補助継続を求める陳情
書について

政府は「財政構造改革」
として、来年度から補助廃
止の方向を打ち出している。
学校給食米への補助は、
子どもの頃から日本型食生
活を身につけ、健やかな成
長に重要な役割を果たして
いるだけでなく、安全で豊
かな給食は、米の消費拡大
の面で、将来にわたり大き
な役割を果たすものである。
特に富山県は、地元の米

を使用しており、農業を大
切にする心を育てるとい
う教育的な意味もきわめて重
要である。

富山県議会は、全会一致
で意見書を探択した。入善
町議会も、陳情書の採択に
とどまらず、政府に「学校
給食米への補助継続を求め
る」意見書を提出すべきも
のと考える。

他の請願・陳情について
は、賛成するものである。



学校給食米「コシヒカリ」

各種団体からひとこと

農作業事故発生ゼロを目指して

入善町農業機械士会

会長 北川 和光



農業機械は農業の近代化、生産性向上に貢献している一方、毎年重大な農作業事故の発生を招いており、農作業安全対策は大きな課題となっている。また近年、中核農家や営農組織を中心に農業機械

の大型化高性能化が進むとともに高齢者や女性が機械作業に携わる機会が増えており、従来にも増して重大事故の発生が懸念されることから、よりきめの細かい農作業安全対策が求められている。このような中、農作業安全対策に取り組む各会員の役割は極めて重要であり、今後とも農作業事故発生ゼロに向けて、地域の農作業安全意識を向上し、農業発展に寄与する

傍聴席からひとこと



米山六博さん
(新屋)

町議会の傍聴は四年前につづいて、二回目です。一回目は北陸新幹線の起工式が平成四年十月十三日朝日町体育館にて盛大に行われた後、入善町議会の対応に関心をもって傍聴致しました。

今回は先の選挙で入善町を二分した激戦後の初議会とあって傍聴席は満員の状態で、いささか緊張感を覚えながらの傍聴となりました。新町長をはじめ多数の若手議員の当選で、これからの新しい時代の入善町を担う若い世代の活躍に注目して、午前午後とも最後まで拝聴させていただきました。

一般質問に対する要旨等は前もって提出され、町当局及び議員各

位も準備をされての発言ですが、行財政改革をはじめとする諸問題を真剣にとらえておられ、多少なれないしぐさもフレッシュに映り好印象を受けました。

東南アジア諸国や日本は、ここ数年厳しい不況に直面し、国内空洞化や企業リストラ選別化が一段と進んでまいります。私達中小企業はもとより、町民一人ひとりの心やくらしにも影響がでてきます。町当局並びに議員各位にも、こうした時代や、入善町の現状を正確にとらえ、公約を守ると共に、「開かれた町政」、「町民の声に耳を傾ける議会」であってほしいと願って議場を後にしました。

ことを目的として会の活動に携わっています。

今年度の主なる活動といたしまして、4月よりフォークリフト運転技能講習終了証取得希望者を取りまとめ、入善町より機械士会、女性機械士会アムロン、合わせて34名の会員が挑戦され取得されました。事前練習会においては、本番以上に熱心で真剣に取り組み各目標において10月まで学科、実技試験が続きまして、また本年度は、三町農業機械技能フェスティバルの担当事務局でありましたので8月5日、J A入善町野菜集荷場において入善町、朝日町、宇奈月町の男女機械士会が集まりトラクター運行前点検技術競技、ロータリー耕技術競技において農業機械運転者の資質の向上を目的として競技、技術交換大会を開催いたしました。同様に県の農業機械技術交換大会にも毎年参加いたしており、アムロンチームは点検、耕運、路上走行安全競技の総合の部で2年連続最優秀賞受賞という輝かしい実績を上げております。

機械士会といたしましては、より一層の農作業安全を呼びかけた町政にも広く支援をお願い申し上げます。

編集の窓

☆十月の町長、町議会議員選挙で新町長、新議員が選ばれた。政治にたずさわる者、「主権在民」を忘れてはならない。

☆銀行や証券会社の倒産が続き、日本経済の先行きが憂慮される。21世紀を目前にし、地方にも大きな影響が懸念され、真剣な国の対応が望まれる。

☆ダイオキシン汚染が拡大している。検出濃度は低質であるが、環境問題がこれからの政治課題である。

☆介護保険法が2000年4月から施行される。市町村が運営主体となるが、第2の国保ではと心配され、細部については十分検討していかなければならない。

☆新しい編集委員が誕生し「親しまれ、見やすく、読みやすい議会だより」をモットーに頑張ります。

どうぞ、みなさんのご感想やご意見をお待ちしております。

議会広報編集特別委員会

委員長 田原 進

副委員長 岡島 功

委員 谷口一男

委員 菅田英一

委員 元島正隆

委員 福沢恵一